



豊創会 村上 孝 議員

**問** 地域の担い手づくりをどのように進めるのか

**答** ファシリテーターを育成する

**議員** 「村民が主体のまちづくり、協働して推進」とある。村長は地域住民の代表として住民に代わって職員の人事管理に従事し、職員の職務の指揮監督者であり、村職員の雇い主は地域住民であることを忘れてはならない。少なくとも村予算「一般財源」村税」の10%を一括交付金で考えるべきだと思う。持続可能なまちづくりをするための地域の担い手づくりをどのように進めていくのか。

**村長** 協働のまちづくりは人づくりが大事だと考えている。人づくりは今回の予算ではファシリテーターの育成を行うことにした。26年度は村民と役場職員も含めて40人程度の方に参加していただき、年間8回左右的の講座を行う。協働の指針の策定についてもお願いしたいと考えてい

る。役場が声を掛けて関係する団体などに集まってもらい、地区での今後のまちづくりについて話し合う機会などで活躍していただきたい。

**問** 環境支払制度を使い配慮する考えは

**答** 一つの方法。十分検討したい

**議員** 環境は農家だけではもはや守れない時代になったと思う。いろいろな環境支払制度があると思うが配慮する考えは。

**村長** 私は常々市街化調整区域内の土地利用を何とかしたいと考えている。環境を守る意味もあるので、環境を守りつつ農家も守るという両面を考慮して環境支払いというのも一つの方法である。10年後、20年後財源がなくなってしまうからでは遅い。十分検討

したい。

**問** 石神幼稚園の建て替えの考え方は

**答** 園施設と環境改善を同時進行で考える



石神幼稚園

**議員** 石神幼稚園は40年以上経っており、老朽化したところに震災が起こった。園舎は補正予算を組んで修繕し耐震は済んだが、検査の結果、鉄骨はさびてはがれ、壁はひび割れがはつきりと分かる。屋根はゆがんで見える。トイレはおいがひどい。早く建て替えるのか、村松の幼保一元化のようにするのか。少子化を無くすためにも村独自の公立で子育て支援をすることが持続可能な東海村に

なると思うが。

**村長** 12月に授業参観に行ったが、かなり古いと見て分かる。子どもたちがのびのび過ごし、先生も頑張っているのが救いである。老朽化したものを耐震化だけして使うのは確かに問題がある。今後の幼稚園整備について本村は公立中心であるから十分検討した上で、なるべく保育の環境の改善と同時に進められるよう考えていく。

**議員** 東海中の卒業式、震災で校舎が使えず南中、中央公民館、プレハブで学び充実した3年間だったと答辞があり、「大地讃頌」の大合唱があった。私は感動した。生きる力を学んだと思う。



ひび割れが目立っている壁